

2020年6月吉日

山形県介護支援専門員協会
会長 佐藤 裕邦 殿

山形県糖尿病療養指導士会
会長 間中 英夫



「山形県糖尿病療養指導士認定制度」のご活用をお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、弊会は今年度も標記の制度を企画し執り行ってまいります。

本制度は、糖尿病教育の正しい知識および技術の普及・啓発により、山形県内の医療機関の糖尿病診療の向上と県民の健康増進を図ることを目的とし、糖尿病患者に適切な療養指導を行うことができる人材（山形県糖尿病療養指導士）の育成を目指して参ります。

つきましては、本制度を貴施設の職員にご周知いただき、ご活用いただけましたら幸いです。ご多用中まことに恐縮ですが、ご高配賜りたくお願い申し上げます。

敬白

同封書類

- 1) 山形県糖尿病療養指導士募集ポスター
- 2) 山形県糖尿病療養指導士募集リーフレット
(下記ホームページからPDFファイル版のダウンロードも可能です)

【本件連絡先】

担当者名： 諏佐 真治

所属： 山形大学医学部 内科学第三講座
糖尿病・内分泌代謝学分野内
山形県糖尿病療養指導士会事務局

Tel / Fax： 023-628-5316 / 5318

E-mail： susa@med.id.yamagata-u.ac.jp

ホームページ： <http://www.cde-yamagata.jp>

山形県糖尿病療養指導士認定制度の概要

山形県糖尿病療養指導士会
会長 間中 英夫

糖尿病療養指導士(Certified Diabetes Educator:CDE)制度は糖尿病の専門的知識を有し、それぞれの患者ごとに適した療養生活を指導できる専門医療職を養成する制度です。米国で始まり、わが国でも日本糖尿病療養指導士認定機構がCDE(Certified Diabetes Educator of Japan:CDEJ)を認定しています。

しかしながら、受験資格に医療職としての国家資格と、糖尿病学会の医師会員が勤務する病院や診療所での勤務歴が必要で、この制約のために資格取得は一部の医療職の者に限定されてきました。そこで、各都道府県独自に、一定の知識を有し実際に糖尿病患者の指導を行っている医療職者を地域糖尿病療養指導士(Local Certified Diabetes Educator:LCDE)として認定する制度が普及しております。糖尿病学会の医師会員がいない医療機関に勤務する看護師や調剤薬局の薬剤師などにも資格取得は認められ、門戸が広がっております。

山形県でも、2018年度から各医療機関のCDEJや糖尿病専門医が集まり、山形県糖尿病療養指導士(Certified Diabetes Educator of Yamagata:CDE-Yamagata)の認定制度を発足致しました。糖尿病に関わりを持つ医療職・介護職の者であれば、講習会と認定試験の受講・受験資格を認め、幅広い職種の方々にCDE-Yamagataとして参加できる制度にしております。

この制度により、県内の医療者・介護者の糖尿病専門知識を向上させ、療養指導により糖尿病患者の自己管理能力並びに生活の質改善が図られるように努めてまいります。そして、将来的に山形県民へ幅広く糖尿病の正しい知識が普及・啓発され、県民の健康増進に繋がる活動になることを目指してまいります。



そうだ！

山形で糖尿病療養指導士になろう！

～一緒に糖尿病患者さんの療養生活を支援しませんか～

日本の糖尿病患者数は、前回調査(2014年)から12万3,000人増えて、過去最多の328万9,000人になりました。(厚生労働省2017年患者調査の概況より)山形県内でも、10万人の糖尿病患者数が推定されます。

糖尿病は病状が進行すると、合併症によって下肢の切断や失明、人工透析といった深刻な事態が引き起こされ、患者のQOL(生活の質)は著しく低下するとともに、医療費が増えて大きな負担が生じます。合併症を防ぐためには、糖尿病を早期発見し、適切な治療と療養を継続することです。

糖尿病の患者さんが適切な療養生活を継続していくために、セルフケアを支援する人が必要です。糖尿病患者数は年々増えており、支援する医療スタッフを多く必要としています。

山形糖尿病療養指導士認定委員会は、山形県で糖尿病教育の正しい知識および技術の普及・啓発活動を支援することで、県内の医療機関の糖尿病診療の向上と県民の健康増進を図ることを目的として組織され、平成30年度より、山形糖尿病療養指導士を育成・認定しています。

Q：糖尿療養指導士って、 どんなことをする人ですか？

A：糖尿病について、幅広い専門知識を持ち、糖尿病治療でもっとも重要な自己管理（療養）を患者さんに指導する医療専門スタッフです。山形糖尿病療養指導士(CDE-Yamagata)は、地域糖尿病療養指導士(Local CDE:LCDE)であり、山形における糖尿病の地域医療において重要な役割を果たす存在として、今後の活躍が期待されています！

Q：山形糖尿療養指導士には、 どんな職種の人がありますか？

A：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、准看護師
保健師、助産師、管理栄養士、栄養士
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
視能訓練士、臨床検査技師、放射線科技師
歯科衛生士、歯科技工士、臨床心理士
社会福祉士、介護士、介護福祉士
介護支援専門員、医療クラーク
等の医療職・介護職の者



山形で糖尿病療養指導士になるとお得なこと！



1. 資格取得を希望される方が、一定の水準に達することができるよう支援します。資格取得後も糖尿病療養指導の能力を高めるための講習会、研修会を企画し更なる向上をサポートしていきます。

2. 山形県内の独自のネットワークをベースにして、糖尿病療養に関する指導・意見交換・事例検討など普段交流できない職種の会員とも交流をはかり、知識・技術の向上を目指す事が可能です。

3. 山形県内の糖尿病療養指導を専門とするスタッフが、独自に講習会、研修会、認定試験を開催します。多職種の方へ門戸を開いており、県内で講習会、試験が開催され、資格取得が比較的容易です。

詳しくは、公式ホームページをご覧ください。📄 <http://www.cde-yamagata.jp/>
お問い合わせは、ホームページ内のお問い合わせフォームをご活用下さい。

